

患者支援センター受診の患者さんへ

当院では、より良い治療を行うための調査研究
「全身水分量と口腔内水分量の比較検討試験
—待機的手術患者の計測データを分析する後ろ向き調査研究—」
を実施しています。

「患者支援センターを受診された患者さんのひとりひとりに最も適した治療方法は何か」を明らかにし、より良い治療法の選択に役立てることを目的として、行っています。

これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この調査では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、薬を飲み始めた当時の症状や、検査の値、その後の経過、特に手術を実施した場合は、いつ手術を実施したかについての記録を集計させていただきます。

調査の対象は、一部の方です。

2018年6月1日から2018年12月31日のあいだに、患者支援センターを受診された65歳以上の患者さんのうちの一部の方を対象としています。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

収集された資料は、個人を特定できないように処理して、済生会横浜市東部病院 患者支援センター長 谷口英喜、のところに集められて解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

収集されたデータは研究終了後5年間または結果公表後3年間保管後、連結不可能匿名化を行い破棄させていただきます。この研究のデータや試料は、匿名化を行い保管し、他の関連研究に提供されることがあります。ただし、対照表は、院内で、管理責任者が施錠管理をおこないます。ご不明な点および患者さんがご自身の結果をお知りになりたい際には開示いたしますので、下記当院担当科までお問い合わせください。

この調査にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。

その場合は、2020年3月31日までに、当院患者支援センター 担当医 谷口英喜にお申し出ください。

連絡先：済生会横浜市東部病院患者支援センター

担当者名：谷口 英喜

電話 045-576-3000

内線（PHS）9695

住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1